

『喪われたレーモンド建築』

— 東京女子大学東寮・体育館

東京女子大学レーモンド建築 東寮・体育館を活かす会編著 工作舎 2012年 2,520円

日本近代建築の父と言われたアントニン・レーモンドが設計した、東京女子大学の東寮および体育館の保存運動の記録。レーモンドは大学全体の建築計画を進めるにあたり、まず個と協働の自治生活の場として東寮を、品格ある社会性を涵養する場として体育館を作った。本書の客観的な事実の記録と豊富な資料は、建学の精神を表す建物の解体を惜しむ卒業生らの積極的な行動をつぶさに伝えている。保存はついに叶わなかったが、女子高等教育史において大きな意味をもつ建物の価値と魅力がうかがえる。